



12月4日～12月10日は人権週間 にじの丘の誇り『思いやり』



**あなたの人権は守られていますか。
あなたは周りの人の人権を守っていますか。
誰かの人権を侵していないですか。**

人権を分かりやすい言葉で表現すると、「誰からも大切にされる権利」のことです。

誰もがいやな思いやつらい思いをしないで、幸せに暮らしている社会でなければいけません。実際には人権が守られていないことが多く起きています。もう一度、人権について考えてみましょう。

まわりを見てください。悲しそうな人、つらそうな人はいませんか。「そっとしておいてあげた方がいい」と思って声をかけないという考え方もあります。でも、そうかどうかは、本人にしかわかりません。

まず、その人の状況や表情から気持ちをくみとり、あたたかい言葉をかけてあげましょう。自分が、声をかけてもらいあたたかい気持ちを感じたら「ありがとう」と言えるといいですね。一人一人の存在を大切にする小さな思いやりの積み重ねが、学校中にあふれる大きな思いやりの心につながると 생각합니다。「思いやり」はにじの丘の誇りです。

12月 保健目標 心の健康「自分も相手も大切にしよう」

「心の健康」とはどういうことでしょうか。心の様子は目では見えないし、体温計で測ることもレントゲン写真で判断することもできません。心の健康は、自分の心で確認するしかないと思います。相手のことも、「心の目」でしっかりみつめられる人になりたいですね。



kosugi

【自分のことを大切にする、相手のことを大切にする】

- ① 自分のことが好きと言える(自分のことを大切に思う心)
- ② 自分のよいところが言える(自分のことを誇りに思う心)
- ③ がんばっていること、がんばりたいことがある(自分のことを信じる心)
- ④ いじめは許さないという言動ができる(人を尊重する心)

新型コロナウイルスに負けるな!

全国で感染者が増えてきています。愛知県は1万人を超え、全国で4番目に多い状況が続いています。「手洗い」「マスク」「近くで大声を出さない」学校で行うこの3つの行動をしっかり意識した生活を送ってください。睡眠、食事をしっかりと、免疫力を高めることも大切です!

11月16日 学校保健委員会 講演会 「自分も相手も大切にすること」



いのちの教育コーディネーターの安藤節子先生をお招きして、8年生を対象に「いのちの授業」を行いました。

『震災やいじめによって、生きたくても生きられなかったいのちがある。生まれてこなければよかったいのちは、生まれてきていない。みんなには良いところがたくさんあります。自分のことを誇らしく思ってください。いのちのバトンをつなぐランナーとして、自分を大切に、周りの人を大切にして、自分に自信をもってしっかり生きてください。そして、いのちのバトンを次に確実に渡してください。』安藤先生の熱いメッセージが伝わってきました。

<感想を紹介します（一部抜粋してあります）>

今はコロナウイルスが発生して、命が奪われたり、自分で命を絶ったりと、命についての考え方が大きく変わっています。けれど、今回の話を聞いて、自分の体や命はなによりも大切にしなければならないことを改めて感じました。一時の感情や考えだけで行動してはいけないんだと思いました。

僕は今まで生きてきた中で「生きていることはどのようなことか」ということを考えたことなんてなかったけれど、命の授業で、今を生きているということはとても素晴らしいことなんだと思いました。これからは日常に感謝しながら生きていきたいと思いました。

今回の授業で、命の大切さに改めて気づかされました。僕は自分をあまり大切に思っていなかったんで、自分を大切にしつつ、友達も大切にしていきたいと思います。

「自分も相手も大切にすること」から学んだことは「生きているだけで価値がある」ということです。安藤先生の話はとても分かりやすかったです。教わったことをこれから活かしていきたいです。

今回の講演で、命はとても大切であり、生きることの大切さが改めて分かりました。自分には良いところがないと思っていたけれど、講演の後で自分の良いところを探すと、たくさんあるんだなと思いました。自分も相手も大切にして生きていこうと思いました。

命の大切さを改めて感じさせられました。いやだと思ったら、やめてと言える人になりたいと思いました。

僕はこの授業で、友達にも言葉を選ぶこと、人との接し方、不自由なく生きていることの幸せを知りました。

この授業で改めて命の大切さが分かりました。ふだんから、気にしていないだけで、日常会話や友達とのおしゃべりの中で、自分は気づかずに相手をきずつけているかもしれないと思いました。これからは、言葉を選んでおしゃべりなどをしたいです。



kosugi

みなさんが書いてくれた感想やメッセージは、安藤先生にお渡ししました。安藤先生の思いがちゃんと伝わっていたことがわかり、とてもうれしかったです。思いは、行動に！